

日本の教科書は「歪曲」と批判

韓国教育相 是正を強く求める

【ソウル21日＝波佐場清】韓国の尹亨鏐・教育相は二十一日、国内記者との懇談で、元従軍慰安婦問題と関連して最近韓国国内で起きている反日デモについ

て、「日本政府の一角に、韓国は反日教育を中止しろとする声が出ている」と指摘、これを「遺憾」とした上で、日本政府に慰安婦や挺身(ていしん)隊問題を「日本政府の一角の声」を

含め日本の教科書の歴史歪曲(わいきよく)を是正することに誠意を尽くすよう求めた。これを報じた同日付の韓国紙夕刊の一部は、

加藤官房長官の発言として伝え、激しく反発している。尹教育相は「日本は既成世代の政治的、便宜主義的な立場から、歴史的真相を歪曲してはならない」と指摘した。

さらに尹教育相は、挺身隊について、日本の教科書が燃やされるなどした韓国内のデモに絡んで「背景に過去の一時期におけるわが国の行為に対する反日感情があるのだ」と思っていると発言。これが、韓国内に「反日教育批判」として伝わっ

たものと見られる。反日教育発言を加藤長官が否定加藤官房長官は二十一日夕の記者会見で、朝鮮人従軍慰安婦問題に関連して韓国紙の一部で「加藤長官が『反日教育を中止しろ』と発言している」と報道されたと点について、「そういう

発言をしたことはない」と強く否定。そのうえで「過去の戦争でアジアの国々にご迷惑をかけたことは反省しているし、そういう気持ちで後世の世代にも伝えていくべきだ。両国としては、未来志向的な方向で、教育していくべきだ」と、発言の真意を釈明した。